

Title	中規模製造業の競争戦略 - 土木薬剤メーカーS社の事例研究 -
Sub Title	
Author	池田佳隆(Ikeda, Yoshitaka) 関本昌秀
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1992
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1992年度経営学 第893号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001992-0893

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

池田 佳隆

主査 小野桂之介

副査 古川 公成

河野 宏和

所属

小野桂之介 研究室

中 規 模 製 造 業 の 競 争 戦 略

-土木薬剤メーカーS社の事例研究-

本論文は、成熟段階を迎えつつある土質安定剤市場において、これまで専業メーカーとして伍してきたS社が持続的な成長を図っていくために採るべき企業行動を、企業競争力の体系的な構築を通じて検討した事例研究である。分析のフレームワークとしては小野桂之介と根来龍之が『生産企業の経営』に示している競争戦略の考え方を採用し、以下のような研究作業手順に従った。

1. 顧客側からみた競争要因（顧客のブランド選択基準）を土質安定剤業界における基準に変換した。
2. 競争要因間の優先度（重用性）を顧客に対するアンケート調査から評価し、それらの重点なる要因に焦点を置いた分析を行った。
3. 上記1、2で得られた理解を基に、全国を9地区に分けた上で重点攻撃地区を抽出すべく、各地区でのそれぞれの競争要因についてのライバル企業に対するS社の評価をインタビューから分析した。
4. 土質安定剤の消費者が求めるブランド選択基準要因を向上し高めていくために、供給者側（メーカー）が為し得るアクションプランを提案した。
5. 上記4で提案したアクションプランを実行した後のライバル企業に対するS社の評価を見直し、その際に効果の大きく出る地区を重点攻撃地区と定めた。そして、その選抜地区におけるS社の採るべきアクションを企業行動マトリックスを用いて提案した。
6. 12の競争要因、企業行動マトリックスについて、その妥当性を評価し、現実適用上の問題点を指摘した。